

事業者達成状況報告書



鳥取県知事 平井 伸治 様

年 月 日

届出者 住所 東京都品川区大崎1-11-1ゲートシティイーストタワー

氏名 株式会社ローソン

代表取締役 竹増 貞信

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第5項（第9条第3項）の規定により次のとおり提出します。

住所（主たる事業所の所在地）	東京都品川区大崎1-11-1ゲートシティイーストタワー						
氏名（名称及び代表者の氏名）	株式会社ローソン 代表取締役 竹増 貞信						
主たる業種							
該当する事業者要件	☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 ☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 ☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 ☐ 特定事業者以外の事業者						
計画期間	令和5年4月 ～ 令和8年3月						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （令和4）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （令和7）年度 （二酸化炭素換算）	増減率	報告年度（実績） （令和6）年度 （二酸化炭素換算）	増減率	
	排出量（1）	9,575.4 t	9,288.0 t	△ 3.0 %	11,173.0 t	16.7 %	
	実績に対する自己評価 省エネ機器の導入・入替えをほぼ計画通り実施ならびに店舗での省エネ10か条の徹底をしたが気温が高く、CO2排出量が基準年度比16.7%増加の結果であった。						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率	報告年度（実績）	増減率
		二酸化炭素換算	42.2 t-CO2/億円	40.9 t-CO2/億円	△ 3.0 %	48.3 t-CO2/億円	14.5 %
		二酸化炭素換算			%		%
		二酸化炭素換算			%		%
	実績に対する自己評価 基準年度の売上242億円に対して売上231億円と低迷した上に気温が高く、寒冷・空調の稼働が上がったため、基準年度比 14.5%増加の結果であった。						
寄与的取組	取組区分	目標年度（計画）		報告年度（実績）			
		実数値	二酸化炭素換算の削減量	実数値	二酸化炭素換算の削減量		
	再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給	（売電量） kWh	t	（売電量） kWh	t		
		（熱供給量） GJ	t	（熱供給量） GJ	t		
	再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	（購入量）	t	-	t		
	森林保全による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	-	t	-	t		
	電気、ガスその他のエネルギーの使用の合理化による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	（購入量）	t	（購入量） GJ	t		
	削減量等合計（2）	0 t				t	
逆引排出量（1）－（2）	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）		
	9,575.4 t	9,288.0 t	△ 3.0 %	11,173.0 t	16.7 %		
推進体制	「ローソングループ環境方針」に基づき、基本理念、方針に従い行動する。 エリアサポート部長を推進責任者とし、支店長を実行責任者として推進する。						
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	内容				
	令和5～8年度	寒冷機器・空調機器	新店：寒冷空調一体型システム、LED照明等省エネ機器導入を継続				
	令和5～8年度	寒冷機器・空調機器	既存店：入替対象店舗の冷凍機、空調機、看板LED化を継続				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	①「ローソングループマテの幸せ募金」による学校緑化・森林整備（植樹、育林等）の実施 ②省資源（レジ袋の削減）への取組み ③食品廃棄物のリサイクル推進 ④廃棄物の分別推進による排出量削減						
特記事項	特にごいません						

注1 該当する口には、レ印を記入してください。

注2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。

注3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。

注4 主たる業種には、統計法（平成19年法律第63号）第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。

注5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

8/8 (51)